

さようならSLから50年

～半世紀前に蒸気機関車を追っていたあなたへ～

営業用の蒸気機関車が国鉄線上から消えて50年が経とうとしています。鉄道博物館では、50年前にC57形135号機がさようならSLの旅客列車をけん引した12月14日から追分機関区の入換用9600形が火を落とした3月2日まで、さようならSLのミニ展示を設置いたします。

写真家伊藤久巳氏が50年前の12月14日室蘭本線、24日夕張線、3月2日追分駅でそれぞれ撮影したSL最後の姿の写真を2枚ずつと、資料1～2点の展示です。この小さな展示を50年前のあの時、蒸気機関車を求めて日本中を旅していたあなたへお贈りします。熱かったあの思いをよみがえらせていただければ。

■会 期：2025年12月14日（日）～2026年3月2日（月）

■場 所：南館3F歴史ステーション中央 時計ひろば

■内 容：会期を3期に分けて展示替えします

・第1期 12月14日（日）～12月22日（月）

展示写真 1975年12月14日C57135けん引 室蘭本線225列車

・第2期 12月24日（水）～1月19日（月）

展示写真 1975年12月24日D51241けん引 夕張線6788列車

・第3期 1月21日（水）～3月2日（月）

展示写真 1976年3月2日 追分駅 39679、79602



1975.12.24

夕張線 鹿ノ谷で発車待ちの
6788列車を牽くD51241

写真:伊藤久巳